

TM
styro

スタイロフォーム™ の保管と注意事項

- スタイロフォーム™は、燃焼遅延剤を添加して、微小火源では着火しにくくしてありますが、燃える性質があります。保管、施工、特に溶接溶断に当たつては火気につながるおそれがあります。
- スタイロフォーム™は、多くのプラスチックと同様に紫外線によって劣化します。直射日光に長時間さらすと徐々に表面から変色劣化し、接着不良、厚さ減少等の原因となりますので、保管に当たっては養生シートで覆い、施工後は速やかに仕上げを行ってください。
- スタイロフォーム™は、酸、アルカリに対しては安定ですが、アルコール系以外の有機溶剤、石油類には侵されますので、使用接着剤・塗料の選択及び木造住宅での防腐・防蟻薬剤の選定及び使用方法については事前にそれらのメーカーにお問い合わせください。
- 溶剤を使って作業する場合は十分に換気し、火気を使用しないでください。
- スタイロフォーム™の使用温度は80°C以下です。80°Cを超えると徐々に変形し始めますので、高温での使用ならびに高温になる場所での保管はさけてください。
- スタイロフォーム™は、局部荷重や衝撃には弱く割れやすい材料です。下地の無い箇所には乗らないでください。
- スタイロフォーム™は、軽量で取り扱いが容易な反面、風にあおられやすいので、強風下での作業は行わないでください。また、保管に当たっては端太角等おもりで飛散防止処置をしてください。

その他の注意事項

- 1) フォームの屑が目に入った場合は、こすらずに流水で洗浄してください。
- 2) 熱線スライス等の煙の発生する作業を行う場合は、換気を十分に行ってください。
- 3) 廃棄の際には、法令に従って処理してください。燃やすと黒煙(スス)がでますのでご注意ください。
- 4) 鳥・鼠・昆虫等によって損害を受けることがあります、栄養源や餌にはなりません。

DUPONT™ デュポン・スタイロ株式会社

本社 / 〒100-6111 東京都千代田区永田町2丁目11番1号 山王パークタワー 03(5521)0131

技術的なお問い合わせ／フリーダイヤル **0120-113210**(イイミズイロ)

<https://www.dupontstyro.co.jp/>

わかりやすい技術情報や最先端の研究成果を紹介!
熱と環境 検索

デュポン™、デュポンオーバーラム™、並びに™、™、及び®表示のあるすべての権利は、米国デュポン社の関連会社の商標又は登録商標です。

styro
TM
スタイロフォーム
二次加工品

「スタイロパネル™」シリーズ

スタイロパネル™は、当社協力会社にて製造・販売しております。



デュポン・スタイロ株式会社

さまざまな建築工法に合わせた スタイルパネル™シリーズ

スタイルパネル™ V 内装一般

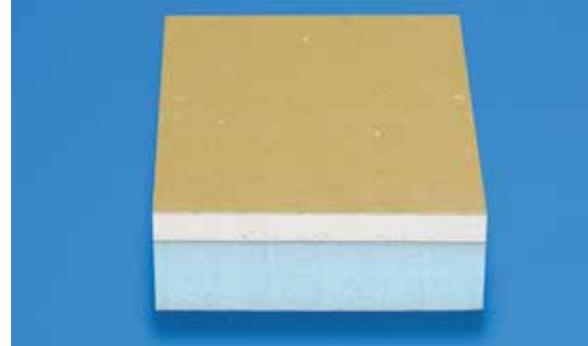


スタイルフォーム™とベニヤの複合板。軽量で施工が容易なため、集合住宅の居室、押入れ等、内壁一般の幅広い用途に使用できます。

表面材	厚み(mm)	標準サイズ(mm) 910×1820
ベニヤ	2.5	○
	3.0	○
	4.0	○
	5.5	○
	9.0	○
	12.0	○

※プリント合板もございます。長尺品は別途お問い合わせください。

スタイルパネル™ P 内装一般



スタイルフォーム™とプラスチックボードの複合板。集合住宅の内壁はもちろん、その質感と厚みのある特長から、商業ビルへの使用に最適です。

表面材	厚み(mm)	標準サイズ(mm) 910×1820
プラスチックボード	9.5	○
	12.5	○

※耐水タイプもございます。長尺品は別途お問い合わせください。

スタイルパネル™ K 耐水



スタイルフォーム™とけい酸カルシウム板を組み合わせた複合板。一般住宅のキッチン、水廻りから、工場の内壁、商業ビル等、幅広い用途に使用できます。

表面材	厚み(mm)	標準サイズ(mm) 910×1820
けい酸カルシウム板	6.0	○
	8.0	○

※化粧けい酸カルシウム板もございます。長尺品は別途お問い合わせください。

※スタイルパネル™は受注生産です。スタイルパネル™の総厚は、表面材の厚みに各種スタイルフォーム™の規格厚みを加えた数値となります。
※スタイルパネル™は、当社協力会社にて製造・販売しております。

スタイルフォーム™
二次加工品
「スタイルパネル™」シリーズ

スタイルフォーム™の物性表

ノンフロン

グリーン購入法適合

4VOC基準適合

(一社)日本建材・住宅設備産業協会の登録商標

JIS規格・種類		JIS A 9521「建築用断熱材」・押出法ポリスチレンフォーム断熱材					試験法
製品名	JIS製品記号	スタイルフォーム™ IB	スタイルフォーム™ B2	スタイルエース™-II	スタイルフォーム™ EX	スタイルフォーム™ FG	
密度	kg/m³	20以上	25以上	25以上	25以上	25以上	JIS A 9521
熱伝導率	W/(m·K)	0.036以下	0.034以下	0.028以下	0.024以下	0.022以下	JIS A 9521
透湿係数 (厚さ25mmの場合)	ng/(m²·s·Pa)	145以下	145以下	145以下	145以下	145以下	JIS A 9521
圧縮強さ	N/cm²	16以上	18以上	20以上	20以上	20以上	JIS A 9521
曲げ強さ	N/cm²	20以上	20以上	25以上	25以上	25以上	JIS A 9521
燃焼性	-	3秒以内に炎が消えて、残じんがなく、かつ燃焼限界指示線を超えて燃焼しない					JIS A 9521
吸水量	g/100cm²	0.01以下	0.01以下	0.01以下	0.01以下	0.01以下	JIS A 9521
ホルムアルデヒド放散区分	F☆☆☆☆等級	F☆☆☆☆等級	F☆☆☆☆等級	F☆☆☆☆等級	F☆☆☆☆等級	F☆☆☆☆等級	JIS A 9521
加熱変形温度	°C	80	80	80	80	80	自社試験法
線膨張率	/°C	7×10⁻⁵	7×10⁻⁵	7×10⁻⁵	7×10⁻⁵	7×10⁻⁵	ASTM D 696
比熱	kJ/(kg·K)	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	ASTM C 351
酸素指数	-	26以上	26以上	26以上	26以上	26以上	JIS K 7201

●加熱変形温度は短時間における加熱状態を想定した試験です。高温での使用に関しては弊社までお問い合わせください。

●酸素指数とは、材料を持続的に燃焼させるために必要な最低酸素濃度。26未満は消防法の取扱いにより指定可燃物となります。

参考:「公共住宅建設工事共通仕様書」における、S1工法に用いる断熱材は特記がなければ、押出法ポリスチレンフォーム断熱材3種bA又は押出法ポリスチレンフォーム保温材保温板3種bAとされています。

スタイルフォーム™の標準サイズ

単位(mm)

	スタイルフォーム™ IB	スタイルフォーム™ B2	スタイルエース™-II	スタイルフォーム™ EX	スタイルフォーム™ FG
厚み	20・25・30・35・40・50	25・30・40・50	20・25・30・35・40・45・50	30・45・50	40・50
幅	910	910	910	910	910
長さ	1820	1820	1820	1820	1820

※一部の銘柄については、販売地域が限定されます。また、上記以外のサイズもございますのでお問い合わせください。

コンクリート下地に、接着剤を使用して直貼りする最も一般的な工法で、防露工事と内装下地工事を同時に行うことができます。

- 貼り込みは、あらかじめ割付図を用意しておくと便利です。目地には隙間があかないように、丁寧に圧着してください。
- 不陸がある場合は、不陸調整をしてください。(長さ2mに対して2mm未満の凹凸)
- 圧着後、接着剤塗布部分に当て木をして木づちで叩いてください。

直貼り施工法：押出法ポリスチレンフォーム保温板裏打ちパネル直貼り工法施工要領書(全国S1協議会連合会、接着工法推進協議会)より

接着剤の塗布およびスリット位置(標準塗布量500g/m²、単位mm)

プラスチックピンの施工要領(参考)

プラスチックピンの軸体への打込み長さは20~25mmとし、ピン頭は径15~30mm程度とする。プラスチックピンはハンマードリルで孔をあけて打込む。打込むさいには垂直になるよう注意する。

プラスチックピン(参考)

商品名: プラファス(株式会社タイルメント)

※プラスチックピンの詳細はプラスチックピンメーカーにお問い合わせください。

推奨接着剤

接着剤の種類	製品名(S1工法専用接着剤)	製造会社
一液・無溶剤型(注) 变成シリコーン樹脂系接着剤	ボンド KMP10 タイルメント MS-850 セメダイン PM525	コニシ(株) (株)タイルメント セメダイン(株)

(注) 变成シリコーン樹脂系を主成分とし、有機溶剤中毒予防規則に定める有機溶剤を5%以上含有しないもので、消防法上における危険物に該当しないものであること。

直貼り施工手順

直貼り施工手順

不陸の調整 → 下地の清掃 → 割り付け → 断 → 裁 → 割りつけ加工 → 接着剤の塗布 → パネル貼付け → 貼りつけ後の養生

施工写真

! 面材を貼り合わせたパネルを天井に施工する場合は、脱落防止金具を併用してください。【後貼り用プラスチックアンカー/(株)タイルメント】